



「次世代につながる持続可能なまち」 を目指して

令和6年度 施政方針と 主な事業



久保田崇市長は、市議会2月定例会において、令和6年度の施政方針を表明しました。その概要と主な新年度予算を紹介します。

はじめに

令和5年度から「人」と「環境」の持続可能性が最重要課題と考え、取り組みを進めてまいりましたが、これから、ますます大きな課題となってくるのが、少子・高齢・多死社会でも安心して暮らせるまちづくりです。

掛川市の死者数は、平成30年度の1180人から令和4年度は2割増加して1416人と過去最多を更新しました。

多くの方が亡くなることによる影響は、相続による空き家の増加や介護など多岐にわたると考えられます。掛川市は、多死社会というかつて経験したことのない課題に対して、柔軟にそしてスピード感をもって取り組み、「次世代につながる持続可能なまち」の実現を目指してまいります。

令和6年度の重点施策

主な事業を抜粋し、7つの分野ごとにまとめました。

1 教育・文化分野

新しい学校教育の創造では、デジタル技術などを活用した授業の改善

や、小中一貫校建設などの学校再編部活動の地域展開、学校給食費一部軽減などに取り組みます。

文化・スポーツの振興では、掛川城天守閣開門30周年記念イベントやかけがわ茶エンナーレの開催、文化財の保存活用を進めます。また、スポーツ推進計画の策定や、学校体育施設の電子予約システム導入などを進めます。

- 学校教育ICT化推進事業 1億2614万円
- 新原野谷学園小中一貫校整備事業 6511万円
- 部活動地域展開推進事業 2197万円
- 給食負担軽減事業 9265万円
- 掛川城漆喰塀ほか改修事業 1億22万円
- かけがわ茶エンナーレ開催事業 2000万円
- 学校体育施設スマート予約システム導入事業 1333万円
- 小中学校トイレ洋式化推進事業 1億1600万円

2 健康・子育て・福祉分野

感染症対策では、おたふくかぜや帯状疱疹など各種感染症の予防対策に取り組んでいきます。

子育て支援では、掛川市こども計

画の策定のほか、こども家庭センターの新設などに取り組みます。

発達に不安のある子どもへの支援では、発達相談支援センター「のびるくむ」の機能強化をさらに進めます。

地域共生社会の実現では、歩行姿勢測定システムを活用した介護予防や、認知症施策の推進を図るほか、掛川版エンディングノートに遺贈寄付編、不動産編を追加して改訂します。

- 帯状疱疹ワクチン接種助成事業 900万円
- 掛川市こども計画策定事業 500万円
- こども家庭センター事業 1200万円
- 新発達相談支援体制強化事業 2151万円
- 新歩行姿勢測定システムによる介護予防事業 175万円
- 私の健康人生設計ノート（掛川版エンディングノート）改訂事業 114万円
- 子ども医療助成事業 7億6184万円
- 放課後児童健全育成事業 4億1564万円
- 新物価高騰対応重点支援給付金給付事業 6億2039万円

3 環境分野

環境分野では、使用済み紙おむつの資源化などごみの減量を推進するほか、公共施設への太陽光パネルの設置などに取り組みます。また、令和12年4月供用開始予定の新廃棄物処理施設についても準備を進めます。持続可能な上下水道に関しては、能登半島地震の教訓から基幹管路の耐震化対策を加速化します。

- 新ごみ減量・資源化推進事業 1481万円
- 公共施設照明LED化事業 1億5303万円
- 新公共施設太陽光発電設備等設置事業 1億4420万円
- 掛川市・菊川市衛生施設組合負担金 12億8261万円
- 中小企業等省エネ設備導入事業 1000万円
- 森林環境譲与税活用事業（掛川の木活用、森林・林道整備等） 4750万円

4 産業・経済分野

産業の振興では、上西郷地区整備推進事業や新エコポリス工業団地第三期事業を推進します。また、海岸線地域ビジョンの実施計画に基づいた地域振興にも取り組みます。

5 シティプロモーション分野

魅力発信で選ばれるまちでは、さまざまなメディアを活用してトップメッセージの発信力強化に努めるほか、移住コーディネートなどによる移住受け入れ環境整備と地域経済活性化に取り組みます。

観光交流の推進では、掛川大祭でのお祭り広場の開催や、教育旅行の受け入れ体制の整備などをとおして地域資源を生かした観光を推進します。

- シティプロモーション推進事業 245万円

6 安全・安心・都市基盤分野

防災力の強化では、能登半島地震の災害状況を踏まえた防災体制の総点検などを行います。

災害対策の強化では、掛川潮騒の杜整備を推進するほか、総合治水計画に基づく流域治水対策などを推進します。

消防救急の迅速化・高度化では、中東遠消防指令センターの新たなシステム構築を行います。また、持続可能な消防団を目指して基本計画を策定します。

多極ネットワーク型コンパクトシティの推進では、掛川城周辺からJR掛川駅までのにぎわい創出のほか、高齢者や障がい者などの交通弱者が気軽に外出できるように公共交通利用料金の支援、新たなモビリティサービスの研究などを進めます。また、空き家対策では、相続によって負担になる不動産を増加させないよう、空き家の除却費用や家財片付け費用など空き家所有者の負

人と環境の持続可能性に チャレンジする予算

令和6年度 予算

令和6年度予算は、令和5年度から継続して「人と環境の持続可能性にチャレンジする予算」とし、引き続き持続可能なまちづくりを進めるとともに、掛川城天守閣開門30周年、さらには翌年度に迎える市制20周年を意識した予算編成としました。

財政課
(☎21-1197)



予算規模

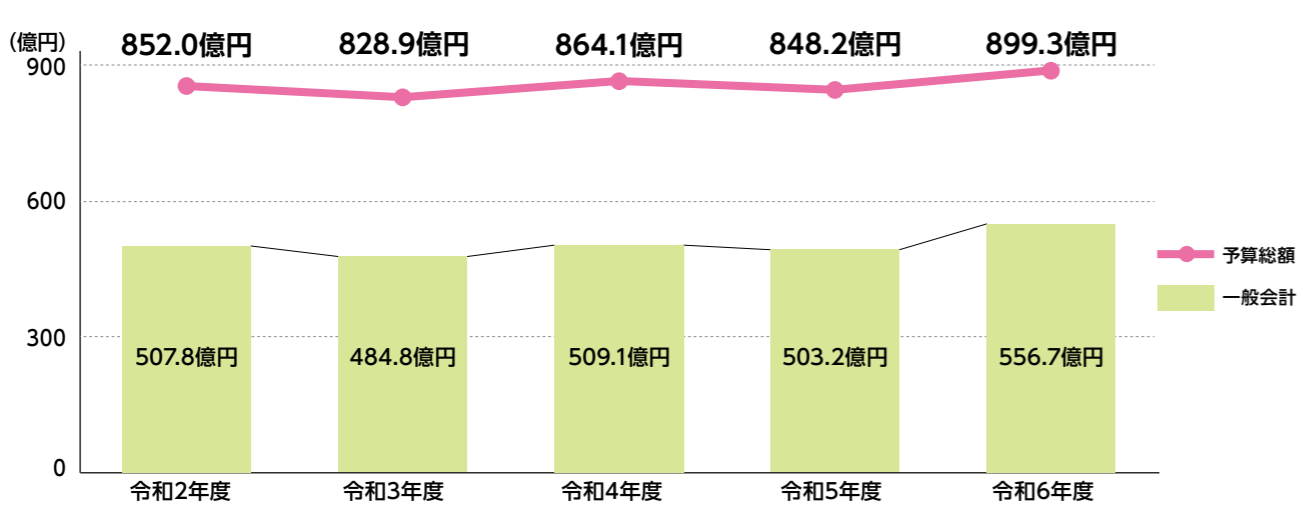
一般会計 556億7,000万円
(前年度比 53億5,000万円)

特別会計 240億5,107万円 (前年度比 △2,329万円)
企業会計 102億 821万円 (前年度比 △2億1,804万円)

- 【一般会計】 行政運営の基本的な経費を網羅した会計
- 【特別会計】 国民健康保険特別会計など、一般会計とは別に、独立した経費管理が行われる会計
- 【企業会計】 水道事業会計など、地方公営企業法の適用を受け、市が運営する企業活動に係る会計

市の財政状況は、ホームページからご確認ください。

予算規模の推移



詳細はこちらから ▶

施政方針について

予算額について

7 協働・広域行政分野

ダイバーシティ・協働のまちづくりの推進では、ダイバーシティが当たり前の社会を目指してアクションプランを作成します。また、地域における河川の愛護活動についても「自走式草刈り機」を導入し、負担

- 担軽減に向けた支援にも取り組み、庁内横断的な体制として(仮称)多死社会対策検討会議を設置します。
- 幹線道路の整備では市道桜木中横断線、市道掛川駅梅橋線、市道三井幹線に重点的に取り組み、東名高速道路のスマートIC設置についても推進していきます。
- 海岸防災林強化事業 10億7781万円
- 中東遠消防指令センター運営事業 4億3479万円
- 新高齢者等お出かけ交通券助成事業 1120万円
- 空き家対策事業 2477万円
- 広域的幹線道路整備事業 2億3420万円
- (仮称)掛川西スマートIC予備設計事業 1425万円
- 新同報無線設備更新事業 6億3569万円
- バス交通対策事業 2億4621万円

軽減を図ります。国際交流については、ユージン市やコーニング市、横城郡など国際姉妹都市との交流を再開します。その他にも、市民・高校生チャレンジ事業などを実施します。未来に向けてのまちづくりでは、公共施設再配置計画の策定やさまざまな屋内遊び場などへの再整備を推進します。また、オンライン手続きの拡充など手のひら市役所を推進します。

- ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン推進プロジェクト 550万円
- 中高生海外姉妹都市交流事業 200万円
- 高校生チャレンジ公募事業 100万円
- 公共施設マネジメント推進事業 2277万円
- 新22世紀の丘公園たまりく屋内遊び場等整備事業 1億811万円
- 地区まちづくり協議会支援事業 9982万円
- 区長会連合会・自治区支援事業 1億922万円
- 自走式草刈り機等活用事業 711万円

むすびに

能登半島地震によって、大切な方を亡くされた方々、また、断水や厳しい寒さの中、避難所で苦勞されている方々を見るにつけ、非常に心を痛めております。その姿は、13年前の東日本大震災で壊滅的な被害を受けた陸前高田市において私が見た光景と重なります。

東北の被災者とともに復興に向けて過ごした経験から、私は多くのものを学びました。その中でも、「チャレンジ」は、私が最も大切にしている言葉であり、市政運営の柱です。

多くの方が地震による大津波によって亡くなったなか、「生き残った自分たちは、死んだあいつの分までしっかりと生きないといけない」という言葉を聞いた私は、一度しかない人生をさまざまなことにチャレンジして、悔いのないように生きようと心に誓いました。

市政においては、明確な解決策のない、困難な課題が数多くありますが、悔いのないよう力いっぱいチャレンジして市民とともに立ち向かえば、必ず道は開けると確信しております。これからも「対話とチャレンジ」をキーワードに持続可能なまちづくりを進めてまいります。